

下水道脱炭素化推進事業
(川崎市入江崎総合スラッジセンター汚泥処理施設脱炭素化推進事業)
事業計画書

1 事業の位置

- ・入江崎総合スラッジセンター（川崎市川崎区塩浜 3－2 4－1 2）

2 事業の目的

川崎市下水道事業では、川崎市の事務事業における約 18%(令和 2 年度実績)の温室効果ガスを排出している。入江崎総合スラッジセンターの汚泥焼却炉の再構築に際し、高温焼却、2 段燃焼化による一酸化二窒素の排出量を大幅に削減可能な焼却炉や創エネルギー設備の導入を図り、温室効果ガス排出量の大幅な削減を図ることとする。

3 事業の内容及び年度計画

1 事業内容

- 1 系焼却炉の再構築（高温焼却化・二段燃焼化、焼却廃熱発電施設の導入）
 - ・汚泥焼却炉の改築（処理能力 40 t-DS/日）
 - ・焼却廃熱発電施設（発電能力 約 650kW）

2 年度計画

令和 3 年度：事業契約（PPP/DB 方式）
 令和 3 年度～7 年度：設計・建設期間
 令和 8 年度：完成・運転開始（既設撤去）

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9～
項目	入札・契約事務		設計・建設			運転開始	
	→	→	→	→	→	→	→
						既設撤去	
						→	

4 補助金の算定根拠

総事業費 約 1 2 7 億円（※）

単位：百万円

年度	R4	R5	R6	R7	R8	計	備考
総事業費（税込）	350	1,433	4,551	3,239	3,139	12,712	
焼却設備	0	0	1,674	1,520	1,460	4,654	機械・電気
創エネルギー設備	0	351	287	369	0	1,007	機械・電気
濃縮・脱水設備	0	0	1,405	1,035	1,003	3,443	機械・電気
濃縮・脱水・焼却設備	203	801	1,185	315	0	2,483	土木・建築
設計等	147	281	0	0	676	1,089	既設撤去含む

※本事業は DB 方式のため、R5 以降の事業費変更の可能性があり得ます。

5 事業効果

温室効果ガス（GHG）排出量の削減量及びその算出方法

GHG 削減量（総量）：約 7, 200t-CO2/年

（内訳）

- 消費電力量削減による GHG 排出量削減量：約 400t-CO2/年
- N2O 削減による GHG 排出量削減量：約 5, 700t-CO2/年
- 再生可能エネルギーの創出による GHG 排出量削減量：約 1, 100t-CO2/年

その他

- 消費電力量削減によるコスト縮減効果：約 4, 600 万円/年

位置図

